

Copyright © YRGLM Inc. All Rights Reserved.

1. BigQuery内での連携準備作業

Googleプロジェクトの作成 BigQueryAPIの有効化 Google Cloud Storageの有効化 Google Cloud Storage JSON APIの有効化 サービスキーの発行 サービスアカウントIDの確認 Google Cloud Storageのバケットの作成 BigQuery Datasetの作成

2. 弊社へのBigQuery関連情報の送付

1. BigQuery内での連携準備作業

お客様のBigQueryにて、アドレポとの連携に必要な準備を実施いただきます。

1. Googleプロジェクトの作成

アドレポ連携用の新規プロジェクトを作成ください。

- 1.<u>BigQueryのダッシュボード</u>にアクセスします。
- 2.「プロジェクトを選択」をクリックし、プロジェクトを作成します。

	Google Cloud Platform	プロジェクトを選択 🍈	۹
A	ホーム		
,0 ,	Cloud Launcher		
	お支払い		_



1. Googleプロジェクトの作成

アドレポ連携用の新規プロジェクトを作成ください。

3.任意のプロジェクト名を指定し、プロジェクトを作成ください。(「adrepo」など)

新しいプロジェクト	
割り当てのプロジェクト数は残り 12 件です。詳細 プロジェクトタ の	
adrepo	
作成キャンセル	

※以降の作業では、作成したプロジェクトが画面上部で常に選択され ている事を必ずご確認下さい。プロジェクトの選択を誤った状態で作 業を行うと、アドレポとの接続が出来ません。



2. BigQuery APIの有効化

BigQueryのAPI有効化をご設定いただきます。

1.画面上部の検索バーに「BigQuery API」と入力し、表示されたラベルをクリックして下さい。

	Q BigQuery API
ダッシュボード アクティビティ	API BigQuery API
	RPI BigQuery Data Transfer API

2.画面が切り替わった後、「有効にする」というボタンが表示されている場合はクリックしてください (すでにAPIが有効化されている場合は、当作業は不要です。)

← API ライブラリ			※以下 APIの	以下のように「無効にする」というボタンが表示されていれば、 ^v Iの有効化は完了しています。	
				← BigQuery API ■ 無効にする	
	BigQuery API Google			概要 割り当て 🍃	
	A data platform for customers to create, manage, share and query data.			この API について	
	有効にする この API を試す じ			すべての API パージョン ▼ すべての API 認証情報 ▼ すべての API メソッド ▼ 1時間 (

3. Google Cloud Storageの有効化

Google Cloud Storageの有効化をご設定いただきます。

1.画面上部の検索バーに「 Google Cloud Storage 」と入力し、表示されたラベルをクリックして下さい。

≡ Go	oogle Cloud Platform	₿• My	Project 🔻	Q	Google Cloud Storage	>
API AP	りとサービス	÷	BigQuery A		Storage	
	- x - 1 ⁰ - 1 ⁰			API	Google Cloud Storage	
• • · シッ	リンユホート	概要	割り当て			
₩ 코イ	イブラリ			API	Google Cloud Storage JSON API	

2.画面が切り替わった後、「有効にする」というボタンが表示されている場合はクリックしてください (すでにAPIが有効化されている場合は、当作業は不要です。) ※以下のように「無効にする」

← API ライブラリ	
	Google Cloud Storage Google Google Cloud Storage is a RESTful service for storing and accessing your data on Google's 有効にする

※以下のように「無効にする」というボタンが表示されていれば、 APIの有効化は完了しています。

← Google Cloud Storage	■ 無効にする
柳荚	
このサービスについて	

4. Google Cloud Storage JSON APIの有効化

Google Cloud Storage JSON APIの有効化をご設定いただきます。

1.画面上部の検索バーに「Google Cloud Storage JSON API」と入力し、表示されたラベルをクリックして下さい。

≡	Google Cloud Platform 💲 ad-repo 🔸	Q	Google Cloud Storage JSON API
API	← Google Cloud Storage JSON API	API	Google Cloud Storage JSON API
¢	御蓮 割り当て		

2.画面が切り替わった後、「有効にする」というボタンが表示されている場合はクリックしてください (すでにAPIが有効化されている場合は、当作業は不要です。)

÷	API ライブラリ	
		Google Cloud Storage JSON API Google Lets you store and retrieve potentially-large, immutable data objects. 有効にする この API を試す ご



5. サービスキーの発行

- サービスキーを発行いただきます。
- 1.<u>BigQueryの「認証情報」</u>にアクセスします。
- 2.「認証情報の作成」をクリックし、「サービスアカウントキー」を選択します。



3.サービスアカウントにて、「新しいサービスアカウント」を選択する。

	← サービス アカウント キーの作成	
← サービス アカウント キーの作成		
	サービスアカウント	
サービス アカウント 選択…	新しいサービス アカウント	
	○ P12 P12 形式を使用したコードとの下位互換性を目的としています	

5. サービスキーの発行

サービスキーを発行いただきます。

4.サービスアカウントキーの作成にて以下の内容を入力してください。

- ・サービスアカウント名 : 任意の名称 (adrepoなど)
 - : 「BigQuery データ編集者」「BigQuery ユーザー」
- ・キーのタイプ : JSON

・役割



5. jsonファイルがPCに保存されます。こちらのファイルを弊社までメールにて送付ください。

6. サービスアカウントIDの確認

サービスアカウントIDを確認します。(手順8にて利用します。)

1.<u>BigQueryの「認証情報」</u>にアクセスします。

2.「サービスアカウントの管理」をクリックし、「5.サービスキーの発行」で作成しサービスアカウントの「メール」をコピーします。

APT	認識で	
		※以下の「メール」をコピーしておきます。
٩	認証情報 OAuth 同意画面 ドメインの確認	(手順8で仕様します。)
丗	認証情報を作成・	
0+	ー 有効な API にアクセスするための証明書を作成します。詳しくは、API ドキュメントをご覧ください。	プロジェクト「My Project」のサービスアカウント
		サービス アカウントは Google Cloud サービス ID(Compute Engine VM、App Engine アブリ、Google 以外で実行中の3
	サービス アカウントキー サービス アカウントの管理	理·
	ID 作成日 v サービスアカウント	■ 表をフィルタリング
	2018/03/16 adrepo.	□ メール ステータス 名前 ↑ 説明
		adrepo

Google Cloud Storageのバケットを作成いただきます。

1. Google Cloud Storageの管理画面にアクセスします。

※「無料トライアルに登録」または「課金を有効にする」というボタンが表示される場合は、クリックして必要情報をご入力頂き、 GoogleCloudStorageを使用可能にしてください

2.新規バケット作成画面に遷移します。

					Cloud Storage
Storage	ストレージ ブラウザ	+ バケットを作成	盲削除 😋 更新		バケット
🖶 ブラウザ	Filter by name prefix				
, → 転法	□ 名前		ロケーションタイプ	٢	Cloud Storage では、非構造化オブジェクトを「バケット」という コンテナに格納できます。静的データを Cloud Storage から直接配 信することやす他の Google Cloud Platform サービスのデータを



Google Cloud Storageのバケットを作成いただきます。

- 3. バケット作成画面にて以下の内容を入力してください。
 - : 任意の名称(adrepoなど) ※こちらの名称を弊社までメールにて送付ください。
 - ・デフォルトのストレージクラス : Regional
 - ・場所

・名前

: asia-northeast1

← バケットの作成		
名前 ⑦ Cloud Storage 全体で一意である必要があります 合は、ウェブサイトのドメインを名前として入	す。ウェ ブサイト コンテンツを提供 する場 ,力してください。	
adrepo-mycompany		
デフォルトのストレージクラス @ ストレージクラスを比較する Multi-Regional Regional Nearline Coldline		
場所		
asia-northeast1	×	
ストレージ費用 取得 GB/月あたりの価格: \$0.023 無料	^{导コスト} クラス A オペレーション <i>③</i> 料 1,000 ops あたりの価格: \$0.005	クラス B オペレーション ⑧ 1,000 ops あたりの価格: \$0.0004
※ 詳細設定を表示		
作成キャンセル		

Google Cloud Storageのバケットを作成いただきます。

4.作成されたバケットの権限を編集します。

	ブラウザ 🔂 パケ	ットを作成 🤁 更新 🍵 削除					情報パネルを表示
1	Q、前方一致でフィルタ パケット		۶) ح				
1	- 名前	デフォルトのストレージクラス 📀	場所	ライフサイクル 📀	ラベル 🕐	リクエスト元による支払い 😡	
Ŷ	drepo-mycompany	Regional	ASIA-NORTHEAST1	なし		● オフ パケットの ラベルを編 デフォルト	注 権限を編集 集 ・ のストレージクラスを編集

Google Cloud Storageのバケットを作成いただきます。

5.該当バケットに、以下のとおり権限を追加します。

役割 : ストレージ管理者 メンバー : 「6.サービスアカウントIDの確認」にて確認した「メール」

権限 ラベル	·	
パケットへのアクセ and Access Manage を指定します。複数	ス権を付与するには、メンパーを追加し、 ment(IAM)の役割を割り当てて、アク の役割を指定できます。	ldentity セスレベル
コンソールで ACL を す。IAM と ACL を関 さい。	設定してアクセスを管理することはでき 連付ける方法については、 <mark>ドキュメント</mark>	なくなりま をご覧くだ
メンバーを追加 🕜		
	ストレージ管 マ	追加
t.com	選択	
1	✔ ストレージ管理者	
ストレージ管理者	ストレージ オブジェクト閲覧者	
GCS リソースのすべて	ストレージのオブジェクト作成者	
メンバー検索	ストレージのオブジェクト管理者	
一 名前またけ沿来	✔ ストレージ管理者	
- 11111 04 / L 104 DC 11	to be an end of the state of the state of the	
- 1100/CIOQD	セキュリティ審査担当者	
ストレージのL ー)	セキュリティ審査担当者 Storage Legacy	× ×

パケットへのアクセス権をf and Access Management(を指定します。複数の役割を	付与するには、メンバーを追加し、Ide IAM)の役割を割り当てて、アクセス 6指定できます。	ntity レベル
コンソールで ACL を設定し す。IAM と ACL を関連付け さい。	てアクセスを管理することはできなく る方法については、 <mark>ドキュメント</mark> をご	なりま 覧くだ
メンバーを追加 🛞	[1]	
	役割を選択 ▼	追加
メンバー検索 → 名前または役割でフィル	νø	
7トレージ修理率 (1	人のメンバー)	^
GCS リソースのすべてを管	「生りの情以	
ストレーン目2日(1) GCS リソースのすべてを智 タ メンバー ^ イ ブ	14年9 の信RX 継承	
GCS リソースのすべてを留 ダ メンバー ^ イ フ 回	離承	î

※以下のとおり登録した管理者が表示されていれば設定完了です。

BigQueryにDatasetを作成し、アドレポ接続用権限の設定を行います

1.<u>BigQueryの管理画面</u>にアクセスします。

※選択中のプロジェクトが、「1. Googleプロジェクトの作成」の手順で作成されたプロジェクトである事を確認して下さい。 プロジェクトが異なる場合は、「Switch to project」をクリックしてプロジェクトを切り替えて下さい。



BigQueryにDatasetを作成し、アドレポ接続用権限の設定を行います

1.<u>BigQueryの管理画面</u>にアクセスします。

※選択中のプロジェクトが、「1. Googleプロジェクトの作成」の手順で作成されたプロジェクトである事を確認して下さい。 プロジェクトが異なる場合は、「Switch to project」をクリックしてプロジェクトを切り替えて下さい。

2. [Create new dataset] をクリックします。



BigQueryにDatasetを作成し、アドレポ接続用権限の設定を行います

- 3. 「Create Dataset」 画面にて以下を入力します。
 - ・Dataset ID : 任意の名称を入力してください。 ※こちらのIDを弊社までメールにて送付ください。

 - ・Data location : US ※US以外のロケーションは利用できません。
 - Data expiration : Never

Create Dataset		×
Dataset ID	databasename	?
Data location	US \$?	
Data expiration	Never In days.	
OK Cancel		

※作成したDataset名称が表示されれば登録は成功です。

Google BigQuery	Ý
COMPOSE QUERY	
Query History	
Job History	
Filter by ID or label	?
ad-repo	
databasename	
 Public Datasets 	
bigguony public data:backor	nowe

BigQueryにDatasetを作成し、アドレポ接続用権限の設定を行います

4.<u>IAMと管理の画面</u>にて、アドレポが接続できる権限を発行します。

IAMの追加をクリックし、プロジェクトへのメンバー、役割の追加を行います。

- ・新しいメンバー : <u>adrepo-dev@yrglm.co.jp</u>
- ・役割 : 「BigQueryデータ編集者」「BigQueryユーザー」

			ad-repo」にメンバーを追加します
≡ 0	Google Cloud Platform 🐉 аd-геро 🔹 🔍	「ad-repo」プロジェクトへのメンバー、役割の追加 1名以上のメンバーを以下に入力します。次に、入力したメンバーの役割を選択し、リ ソースに対するアクセス権を付与します。複数の役割を設定できます。 詳細 12	
+ 2 () () () () () () () () () ()	ー プロジェクト「ad-repo」の権限 これらの権限は、このプロジェクトとそのすべてのリソースに影響します。詳細に 表示: メンバー 役割		新しいメンバー term.fujiyama@gmail.com 役割 BigQuery データ編集者 ▼ データセット内のすべてのテーブルを編集するためのアクセス権 役割 BigQuery ユーザー ▼ クエリ実行とデータセット作成のアクセス権 + 別の役割を追加
			保有、キャンセル

-

2.弊社へのBigQuery関連情報の送付

上記設定完了後、必要な情報を弊社に送付お願いします。

弊社へのBigQuery関連情報の送付

Google cloud plattoformでの設定完了後、以下のとおり弊社に情報連携をお願いします。

BigQuery連携の作業準備が整い次第、接続にあたって必要な情報を弊社までご連絡ください。

- ▼送付先メールアドレス account_center@yrglm.co.jp
- ▼タイトル

「アドレポBigQuery連携/必要情報の送付」

▼いただきたい内容

- ・サービスキー発行時に出力いただいたjsonファイル (「5.サービスキーの発行」参照)
- ・ GoogleCloudStorageのバケット名称(「7. Google Cloud Storageのバケットの作成」参照)
- ・ BigqueryのDatasetID(「8.BigQuery Datasetの作成」参照)